

1 問1, 2, 7②(完答), 8, 12, 13: 各2点、問3, 4, 5, 6, 7①, 9, 10, 11: 各1点

問1	宇都宮市				問2	多摩川				問3	ウ	
問4	エ		問5	イ		問6	エ		問7	①	ア	
問7	(1)	91	(2)	2827	(3)	1986	(4)	758	問13			
問8	例) I群の3県はいずれも海に面しておらず、II群の3県はいずれも(海の)埋立によって面積を拡大した。											
問9	ウ		問10	イ		問11	ア					
問12	奥州道中											

正答率

問 題	1													
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7		問8	問9	問10	問11	問12	問13
							①	②						
正答率(%)	75	61	72	52	89	75	72	33	28	33	81	33	25	30

- 問1 都道府県の位置と名称、県庁所在地名は正確に把握したうえで、正しく書けるようにしておく必要がある。
- 問2 河川や山脈を県境や国境としている例は、国内外に多数ある。すべてを網羅することは難しいが、学習の中で河川や山脈が登場した際には、その都度どこの県境(国境)なのかを併せて確認していくとよい。
- 問3 東京湾アクアラインは、神奈川県川崎市と千葉県木更津市を結ぶ高速道路である。川崎と木更津の位置を把握できていれば、難しい問題ではない。地図中のQは久里浜と金谷を結ぶフェリー航路を示している。
- 問4 大都市周辺の農業地域では都市との近接生を生かして、伝統的に野菜生産が盛んに行われているところが多い。野菜や果樹の主産地については、統計資料を用いて確認をしておきたい。
- 問5 ハイサーグラフの見方が分かれば判別は容易である。問題文中にハイサーグラフの説明が書かれており、正確に読み取ることができれば解答できた問題であった。日頃目にする機会がない資料でも、持っている知識をもとにその場で読み解ける力を身につけておきたい。
- 問6 資料を読み取りその原因を推定する問題で、正答率は高かった。統計データは、単純な暗記ではなく、なぜそのような値となっているのかという理由(原因)について考え、説明できる力を身につけることが重要である。なお、日本では冬の季節風はおもに北西方向から吹くため、ウの選択肢は不適切である。
- 問7 ① 伊豆諸島、小笠原諸島はいずれも東京都に属する。地図中の島○は大島で、竹芝から高速船を利用すれば2時間程度で行くことができる。
- ② 4つの数字を適切に当てはめる問題であるが、単純に知識を問うているわけではない。島の面積は、周回道路の全長が46.6kmという記述から推理をして導き出してほしい。次に、日本は世界的にみても降水量の多い国であり、年降水量が1000mmを下回る地域はほぼないといってよい。また、1986年の三原山の噴火は全島避難となるほど大規模なものであり、知っておきたい出来事の一つである。これらのことを組み合わせると自ずと答えが見えてくる。

- 問 8 I 群と II 群を対比して考えることができたかどうか、解答の鍵となった。II 群の 3 県が大きく面積を増やしたことが埋め立てによるものであることに気づけば、I 群の 3 県の面積の増減が少ないのは、基本的に埋め立てが不可能である、すなわち内陸県で埋め立てが可能な海を持っていないと推察できる。
- 問 9 戦後の日本の経済と東京大都市圏における人口移動に関する問題である。高度経済成長期における、都市中心部への人口流入による過密、ニュータウン開発の進展による都心から郊外への人口移動に伴う都心部のドーナツ化、バブル崩壊後の都心の再開発による人口の都心回帰と地方都市での急速な少子高齢化の進展が、時系列で整理できているかどうか問われる問題であった。
- 問 10 大都市の中心部は公共交通機関が発達しているのに対し、農村地域や地方都市では、日常生活に自家用車は不可欠な移動手段となっている。
- 問 11 前問と関連する問題である。学校や職場が多い東京への通勤・通学圏となる地域は、距離に応じて通勤・通学時間が長くなる傾向があるが、東京から遠い群馬県では、東京の通勤圏とならない地域が多い。通勤に自動車を利用することも多く、居住地周辺に職場があることから、東京近郊の県よりも通勤時間が短くなる。
- 問 12 江戸時代の五街道をはじめ、古くから交通量の多い街道沿いには、たくさんの宿場町などが形成されるなど賑わいを見せていた。確実に正解したい問題であったが、正答率は低かった。
- 問 13 問題中に示された例にしたがって、白地図中に正確に情報を記入できるかを問うた。山を▲で示さないなど、問題文中の指示に従っていない答案が散見された。銚子市は利根川の河口に位置し、水揚げ量全国 1 位の港を持つ港町であることから、千葉県東端の海岸線付近に●印を記すのが適切であるが、海岸から大きく離れて内陸部に●を記した解答が少なくなかった。「銚子市＝水揚げ量全国 1 位」という知識の暗記ではなく、港町であるということは、どのような位置にあるかというところを地図で確認し、知識をつなげていくことが、地理の学習の本質である。